|  |
| --- |
| 学習のてびき    文章を評価する |
| 学習日　　／ |
| 組 号 |
|  |

　評価するとは？

　　ものごとをよく観察・分析して、その良し悪しやどのような価値があるかを判断すること。

評価するときの流れ

1. 評価する対象を決める。
2. 評価したい対象について、評価の観点を決めて分析する。
3. 評価の観点に基づいて、良し悪しを決める。
4. 判断や価値の根拠を明確にして、論理の展開を考える。
5. 評価する言葉を使って、読み手にわかりやすい評価を書く。

評価するときに使いたい言葉　　＊意味が分からない言葉は辞書で調べる。

|  |  |
| --- | --- |
| 異彩を放つ  合点がいく  傑作  珠玉  緻密  万人受け  非凡  磨きぬかれた  申し分ない  的確  模範的  比類ない  卓越 | 良い評価 |
| 彼の作品は一際異彩を放っている  選ばれたのは合点がいく  ミステリーの傑作だ  珠玉の短編が多い  緻密に計算された構成だ  この歌詞は万人受けする  非凡な才能を持った登場人物  磨きぬかれた語感の良さ  この表現は申し分ない  彼の意見は的確だ  模範的な文章だ  比類ない表現方法だ  卓越した技術をもっている | 使い方　例 |
| ありふれた  いただけない興ざめ  荒唐無稽  ずさん  粗雑  駄作  稚拙  陳腐  月並み  ぱっとしない  紋切型  度を越す | 良くない評価 |
| ありふれたストーリーだ  この表現はいただけない  予想通りの展開に興ざめだ  あまりにも荒唐無稽な話だ  ずさんな論理の展開だ  粗雑な計画で困る  新しい漫画は駄作だった  稚拙な話で読む気にならない  陳腐な言葉は心に響かない  月並みな生活しかできない  頑張っているがぱっとしない  紋切型では面白さに欠ける  何事も度を越してはいけない | 使い方　例 |

生活に生かす

　○好きな物語や小説を選んで評価する。

　○スピーチやプレゼンテーションで発表者の話を評価する。

　○自分で書いた文章を自己評価し、より説得力のあるものにする。